

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 (春宅会)

春宅会協議内容(令和3年10月～令和4年7月)

- 春日部市医療介護職連携研修・交流会及び、春日部市介護事業部門連携研修・交流会の企画、開催、報告
- 春こい・らいん2021年度上半期報告
- 令和3年度在宅緩和ケア地域連携構築事業について
- 春宅会運営規程について
- 令和4年度春日部市在宅療養支援ベッドの運用体制について
- 春日部市在宅緩和ケア推進構築部会について
- 令和4年度ACP普及啓発講師人材バンク登録制度について
- 春こい・らいん2021年度下半期報告
- 令和5年度の研修会日程について
- 令和4年度春日部市健康フェアでの市民向け啓発活動の企画
- 各団体からの連絡、提案及び活動報告

春日部市では、埼玉県及び埼玉県医師会「ACP普及啓発講師人材バンク登録制度」における取組を受け、市民へのACP普及啓発のため、令和3年12月に2回、令和4年3月に1回の講演会を開催しました！

- 日時: 令和3年12月7日(火) 14:00～14:30
会場: あしすと春日部
講話: 「あなたらしい人生最後の医療とは」
講師: 春日部市医師会 副会長 竹田クリニック 竹田広樹氏
配布資料: 「私の意思表示ノート」
発行 一般社団法人埼玉県医師会



- 日時: 令和3年12月17日(金) 14:00～14:30
会場: 武里地区公民館
講話: 「あなたらしい人生最後の医療とは」
講師: 春日部市医師会 副会長 武里外科脳神経外科 遠藤賢氏
配布資料: 「私の意思表示ノート」
発行 一般社団法人埼玉県医師会



- 日時: 令和4年3月15日(火) 14:00～14:30
会場: あしすと春日部
講話: 「あなたらしい人生の幕引きとは」
講師: 春日部市医師会 会長 一ノ割クリニック 中村靖史氏
配布資料: 「私の意思表示ノート」
発行 一般社団法人埼玉県医師会



ACPIについては、「一般社団法人埼玉県医師会」ホームページに、詳しく掲載されています。
「私の意思表示ノート」も、ホームページからダウンロードできます！

春しん

2022年(令和4年)
第11号誌
令和4年9月発行

【発行元】
☆春日部市地域包括
ケアシステム
推進センター
(春進センター)

☆春日部市在宅
サービス多職種
連絡協議会
(春宅会)

令和3年度健康フェア

テーマ: ~知って得する! みんなで健康づくり~

令和3年12月4日～5日 YouTube配信

医療と介護を結ぶ取り組み

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会
春日部市地域包括ケアシステム推進センター

令和3年度 健康フェア

~知って得する! みんなで健康づくり~



春日部市の医療と介護を支える15団体

春日部市医師会	春日部市歯科医師会	春日部市薬剤師会	春日部市介護福祉士会	春日部市福祉士会	春日部市社会福祉協議会	春日部市民生委員連合会	春日部市シルバー人材センター	春日部市高齢者福祉センター	春日部市障害者福祉センター	春日部市障害児福祉センター	春日部市障害者就業・生活支援センター	春日部市障害者相談センター	春日部市障害者支援センター	春日部市障害者就業・生活支援センター	春日部市障害者相談センター	春日部市障害者支援センター
---------	-----------	----------	------------	----------	-------------	-------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------------	---------------	---------------	--------------------	---------------	---------------

現在の春宅会は15団体が所属しており、春宅会会長は2020年7月より就任した竹田クリニック院長 竹田 広樹先生です。他にも歯科医師会、薬剤師会や行政等が所属しています。

春日部市の医療と介護を支える15団体



その後、医師会・春日部市・地域包括支援センター等と春進センターを含めた団体が春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)を発足しました。

市民向けの活動、講演会



市民向けの活動として年1回開催される健康フェアに例年、血圧測定、筋力・体脂肪測定や医療・介護に関する講演会を開催しています。※昨年度より動画放映

春宅会の主な活動内容

- ・月1回の会議の開催
- ・医療介護職向けの研修、交流会の開催
- ・市民向けの活動、講演会や介護予防講座

春宅会では、会議の他にも医療介護職に向けた情報

令和3年度健康フェアは、コロナ禍のため、感染対策をの会場開催とYouTubeによる動画配信を行いました。春日部市の健康に関する取り組みを皆様に分かりやすくお知らせできるよう動画を作成し、令和3年12月4日～5日の期間限定で、春日部市公式チャンネルからYouTube配信を行いました。

令和4年度開催の「健康フェア」は、感染対策を実施し、会場での開催を予定しています！

(感染状況によっては変更の可能性もあります。)

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)



近い人に繰り返し話し合いを行い、自分の希望や思いを医療ケアに反映させる過程のことです。平成30年11月に国はACPの愛称で「人生会議」としました。

春日部市地区在宅歯科医療支援窓口



埼玉県歯科医師会では、歯科通院が困難な方への歯科治療のご相談や訪問診療を行っている歯科医院をご紹介します。在宅歯科医療推進拠点を県内に20ヶ所以上設置して

まとめ

- ・2025以降、65歳と75歳以上の高齢者が増加傾向にある
- ・春日部市の地域包括ケアシステムは着々と進んでいる
- ・医療、介護で困った時は紹介した団体に相談する

春日部市のより良い未来のために様々な団体が皆さんの医療と介護を支えるべく

「春日部市医療介護職連携研修・交流会」開催についてのお知らせ

研修会が変わります!



コロナ禍の影響により、開催中止となっておりました「春日部市介護事業部門連携研修・交流会(春コン・ケア)」は、令和4年度より「春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)」として、年に4回の研修・交流会を開催することとなりました。多くの皆様の参加をお待ちしています!

春と秋: 交流会 グループディスカッション
夏と冬: 研修会 YouTube動画配信



第15回 春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

テーマ:「医療と介護の連携について」グループディスカッション

令和4年5月11日(水) 於:ふれあいキューブ

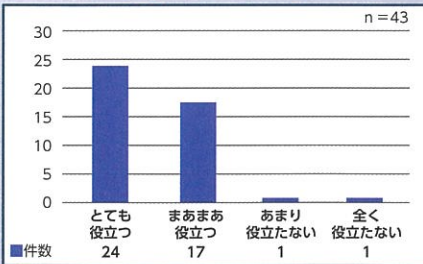


本研修会開催に際し、春日部市長:岩谷一弘様、春日部市医師会会長:中村靖史様、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会会長:竹田広樹様よりご挨拶をいただきました。ありがとうございました。

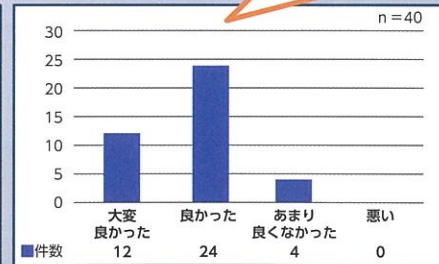
コロナ禍により、第12回春コンからはオンラインにて研修会のみを継続してきましたが、今回の第15回春コンでは、参加人数制限等の感染対策を講じながら対面による交流会(グループワーク)を開催しました!



今回の研修・交流会は、ご自身の職務に役立つものとなりましたか。



今回の研修・交流会の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、フェイスシールドや手指消毒等の感染対策を行いながら対面でのグループワークを行いました。これらの取り組みについていかがでしたか?



会場では、いつの間にか名刺交換が積極的に行われていました。

【GW課題 ～医療介護連携について～】

【医療介護連携の現状】

市内8か所の包括は、近所でない施設名を聞いてもピンとこないで困った。施設からもっと意見が出ないと気づけない困難事例が隠れているかも。利用者の急変時に初診の処置受入が難しい。コロナ特有の現状、救急車を呼んでも受け入れに時間がかかる。対面でのやり取りが制限されてケアの限界にぶつかることもある。ZOOMや電話だけでは得られない認知機能維持などの課題が解決できない。

【連携の目指すべき姿】

情報共有ではワクチン接種歴やPCR検査の最終日時などは昨今最重要かも。利用者の既往症に加えて予防的(ワクチン)情報をお互いに共有できると良い。コロナと上手に付き合える方法が欲しい。入院・在宅どちらでも家族と会える仕組みがでけると良い。

【医療介護連携の目指すべき姿に近づけるための効果的なアイデア】

連携先の場所・土地勘が必要。場所と施設名が分かるリストを作ってはどうか。情報共有を市内の遠近問わずにできると良い。リスト化、地図上の配置。SNSの活用と個人情報管理。春日部市情報パス(紙面)整備。ワクチン追加接種推進し感染拡大防止する。



本研修の総括と閉会にあたり、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会副会長:遠藤賢様よりお話を頂きました。

第14回 春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

YouTube配信(令和3年10月26日 14:00~公開)

テーマ:【ACPについて学ぼう～専門職の関わりを深めよう～】

講師:埼玉精神神経センター センター長 丸木 雄一先生



「春日部市地域包括ケアシステム推進センター」のホームページ 右記URLにアクセスして研修・交流会開催報告を確認できます。

<https://www.skmg.jp/kasukabe-kosei/harushin/report/>

それぞれの専門職の思いに共感!

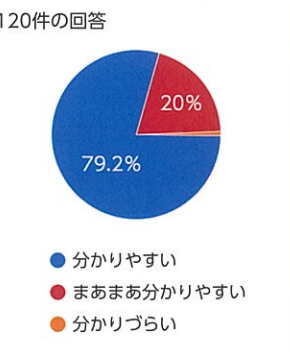
本研修で紹介しました一般社団法人埼玉県医師会発行の「私の意思表示ノート」についてお聞きします。「私の意思表示ノート」をご存じでしたか?

アンケートより

- 【薬剤師】・ACPの理解が深まった。
- 【消防署関係】・映像と詳しい説明で理解が深まった。・わかりやすい内容。市民の皆様にお伝えできれば、救急要請に至らなく、かかりつけ医に連絡して頂けるのでは、救急隊は要請されてしまうと、希望していないCPRなどの処置をせざるを得ない、葛藤する。1日でも早く制度化を心待ちにしている。
- 【ケアマネ】・自分が居宅プランを作成する時に「○○さんらしい生活を過ごせるように支援する」と文言をつかう時がある。その人「らしい」の「らしい」は何なんだろうとふと思ひ、「らしい」を考えるにあたり、ACPは必要なんだなと気がした。今日の講演を受講し、居宅プラン作成にあたり、意識することが増え、考え方が深まりました。
- 【看護師・保健師】・「老後の備えが大事」と地域で話してきましたが、今後はACPも広めていきたいと考えています。認知症の家族会でも参加者から人生会議について学びたいとの声もありました。今後、そのような機会を作っていけたらと考えています。
- 【社会福祉士】・リビングウィルとの違い、ACPの必要性【リハビリ】・ACPという言葉ははじめて聞いた。患者のリビングウィルに対して、点ではなく線で見るという考え方はリハビリ職の目標設定に通ずる所がおおいにあると感じた。今後増え続ける高齢者への院内のみならず在宅での生活も考える上でACPという捉え方は有用だと感じた。
- 【介護職】・とても大事だけど重たい課題だと思いました。お元気な方に聞きづらくなかなか当施設ではACPについて実施できていないのが現状でした。ご家族との関わりが少ない方が多いのでますますご本人のご意見を普段からお聞きしていくことが大切だと感じました。
- 【鍼灸マッサージ師】・時間をかけて話し合うことが大切だと再認識しました。
- 【歯科衛生士】・今回、実際に、ご病気になった方のご様子をお聞きして、どの選択が正解で、どの選択が不正解か、本当に難しさを感じました。講演は、とても分かりやすく貴重なお話を伺う事が出来、感謝しております。
- 【精神保健福祉士】・後半の丸木先生のこれまでの経験や事例が、具体的にイメージしやすく、大変興味深かったです。医療従事者として、色々な選択肢があること、生活していく中でのタイミングで選択肢を変えてもいいのだという安心できる環境を、患者様とご家族と共に作っていかねばと思いました。「点ではなく線で」という言葉がとても印象的でした。
- 【事務職】・ACPの必要性を学ぶことができた。高齢になってからではなく、小さい頃からACPについて知り、学び、身近なものとしてとらえ、生きていく意味を考える上でも必要なことと感じた。



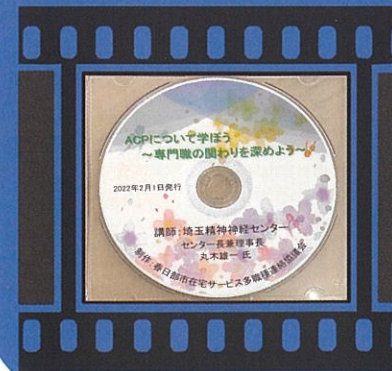
今回の研修会は、「ACPIについて学ぼう～専門職の関わりを深めよう～」について講師からご講演頂きました。感想について選択してください。



第14回 春日部市介護事業部門連携研修・交流会

(春コン・ケア) 令和4年2月

DVD:「ACPについて学ぼう～専門職の関わりを深めよう～」
埼玉精神神経センター センター長 丸木 雄一 氏



本研修は、コロナ禍のため会場での開催が中止となり、先の研修にて参加者の皆様から大変ご好評をいただきました「第14回春コン(令和3年10月開催)」での講演をDVD化し、介護事業関係者皆様へお送りいたしました。この研修DVDを多くの皆様にご視聴頂き、情報提供・共有、学びの場となり、個々の介護場面においてご活用いただければ幸いです。